

新たな防災気象情報 の運用について

～令和8年の大雨時期から防災気象情報が生まれ変わります～

令和8年 説明会資料 彦根地方気象台

- 「防災気象情報に関する検討会」の最終とりまとめ（令和6年6月）を踏まえた新しい防災気象情報の運用を令和8年5月下旬から運用開始する予定です。
- 新しい防災気象情報では、住民の避難行動に対応した5段階の警戒レベルに整合させ、災害発生危険度の高まりに応じて各情報を発表します。
- この方針のもとで、情報名称の変更、警戒レベル4相当となる危険警報の新設、洪水関係の情報変更、気象防災速報の新設など、現行の大雨警報・注意報などの気象庁が発表する防災気象情報が大きく変わります。

防災気象情報の令和8年5月下旬からの主な変更点

河川氾濫・大雨

- **洪水予報河川**では、新設する河川氾濫の特別警報を**レベル5 氾濫特別警報**とし、(発表には、河川管理者の氾濫通報を活用)
- **水位周知河川**では、これまでの水位情報による氾濫危険情報等の発表を続けつつ、**氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。
- **その他河川・下水道**では、**氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。
- **洪水警報**は、運用せず、**大雨の予報・警報と一体化**。(レベル4 大雨危険警報を新設)

土砂災害

- 警戒レベル4相当は、現在の**土砂災害警戒情報からレベル4 土砂災害危険警報に変更**。
- **レベル3 土砂災害警報**は、3時間先※に**レベル4 土砂災害危険警報の基準に達すると予想される場合**に発表。
※4～6時間先にレベル4基準に到達すると予想が可能な場合にも発表

高潮

- **レベルに合わせた名称変更**。
- **気象庁**の潮位予測、**国土交通省**の波の打上げ高予測、**都道府県**の集約する地形情報等を結集し、国土交通大臣が**指定する海岸**について、**三者で共同して予報・警報**を実施
- **氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。

共通

- **情報名称にレベルの数字**をつけて発表。
- レベル2では「注意報」、レベル3では「警報」と**統一感を持った名称へ**。

新しい防災気象情報（令和8年5月下旬から運用開始予定）

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報 等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 洪水予報河川。 の氾濫	大雨 低地の浸水や洪水予報 河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

※滋賀県の洪水予報河川 瀬田川、野洲川下流、姉川、高時川、日野川、野洲川上流、杣川、琵琶湖

土砂災害に関する情報

<現状>

発表指標	60分雨量 (解析・予測) 土壌雨量指数 (解析・予測)	土壌雨量指数 (解析・予測)
情報名称	5	大雨特別警報 (土砂災害)
	4	土砂災害警戒情報
	3	大雨警報 (土砂災害)
	2	大雨注意報
	1	早期注意情報



<改善後>

発表指標	60分雨量 (解析・予測) 土壌雨量指数 (解析・予測)	
情報名称	5	レベル5 土砂災害特別警報
	4	レベル4 土砂災害危険警報
	3	レベル3 土砂災害警報
	2	レベル2 土砂災害注意報
	1	早期注意情報

- レベル3 土砂災害警報は、3時間先※にレベル4 土砂災害危険警報の基準に達すると予想される場合に発表します。
- レベル4 土砂災害危険警報の発表に至らないレベル3 土砂災害警報の発表は、現行のレベル3 相当情報である大雨警報 (土砂災害) に比べて、大幅に減ります。
- 一方で、レベル3 土砂災害警報発表からレベル4 土砂災害危険警報発表までの時間が短くなる事例や、レベル3 土砂災害警報を経ずにレベル4 土砂災害危険警報を発表する事例が増えることが見込まれます。また、キキクルは赤色の出現頻度が減ります。
- このような情報になることに留意いただき、時系列情報や早期注意情報などをあわせて確認し、状況を把握いただくことが有効です。

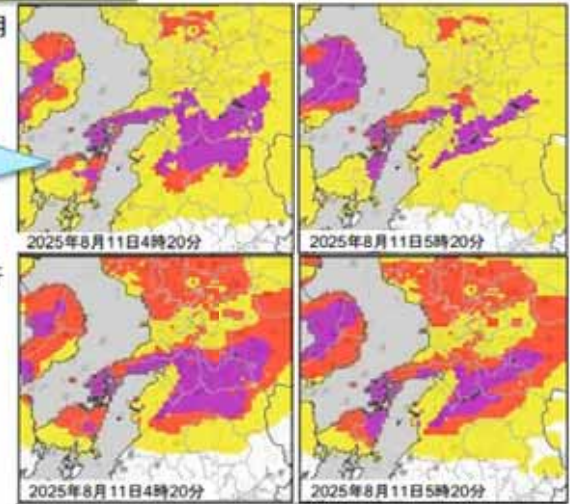
※4～6時間先にレベル4 基準に到達すると予想が可能な場合にも発表

発表回数 発表回数 土砂キキクル (表示例)



赤色の出現頻度が減る可能性あり (降水短時間予報等で予報が難しい場合)

警戒レベル4 相当に至らないレベル3 相当情報が大幅減



危険度の判定方法 (新運用)

- 黒: 実況でレベル5 土砂災害特別警報基準到達
- 紫: 2時間先までにレベル4 土砂災害危険警報基準到達
- 赤: 3時間先にレベル4 土砂災害危険警報基準到達
- 黄: 6時間先までにレベル2 土砂災害注意報基準到達
- 白: 6時間先までにレベル2 土砂災害注意報基準未達

土砂災害に関する警戒レベル3 相当及び4 相当情報の発表回数の比較 (令和5年6～9月のデータに基づく)

新方式の警戒レベル3 相当情報の発表回数は、レベル4 相当情報の基準 (CL) に3時間先に到達すると見込まれる場合として算出。

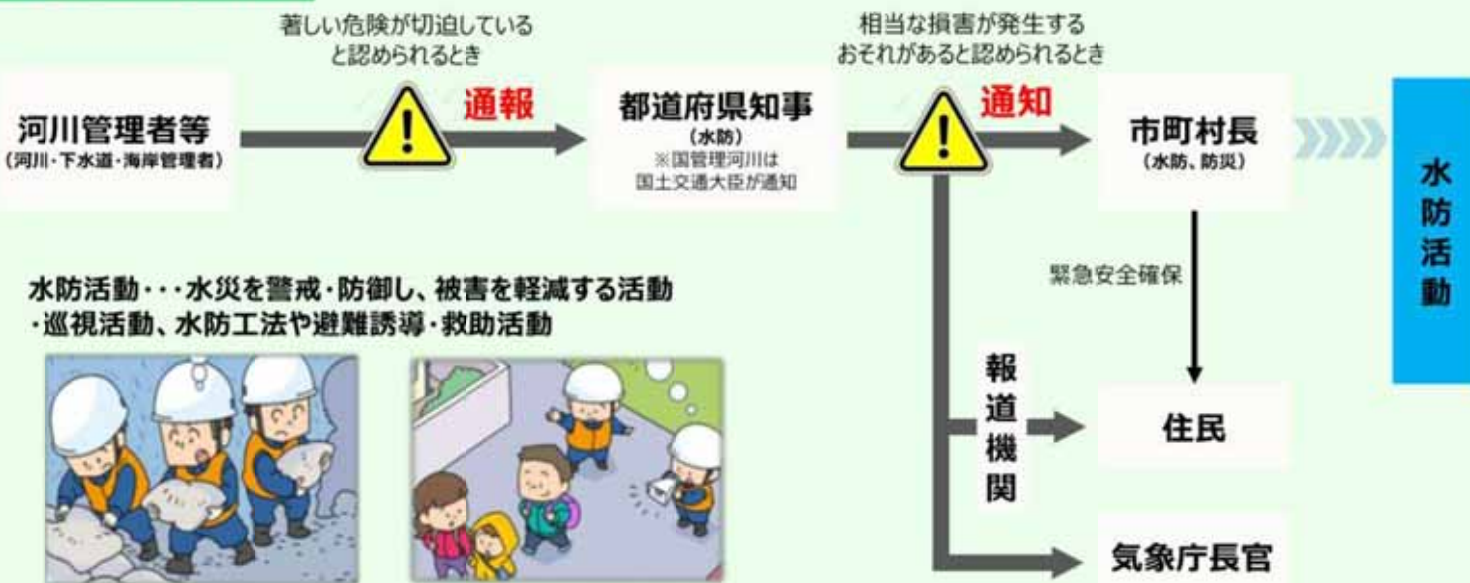
河川管理者等による氾濫に係る通報

- 氾濫によって住民の生命に影響が及ぶ蓋然性が高くなる状況（警戒レベル5となる場合）においては、その状況の速やかな把握や迅速な身の安全を守る行動等の対応をとることが重要となる。
- 氾濫による著しい危険が切迫した状態にあることを、河川管理者等が水防事務を担う都道府県知事等にプッシュ型で通報し、通報を受けた都道府県知事が、水防関係者に通知を行うことで、市町村長等による迅速な緊急安全確保措置の指示やその他の的確な水防活動に繋げる。

※なお、通報を受けた都道府県知事が気象庁長官にも通知を行うことで、特別警報の発表の判断要素として活用される。

※浸水想定区域・・・住宅等が所在する区域において、洪水や高潮による氾濫等により浸水が想定される区域（市町村がハザードマップを作成することとなっている）

新たな通報制度の概要



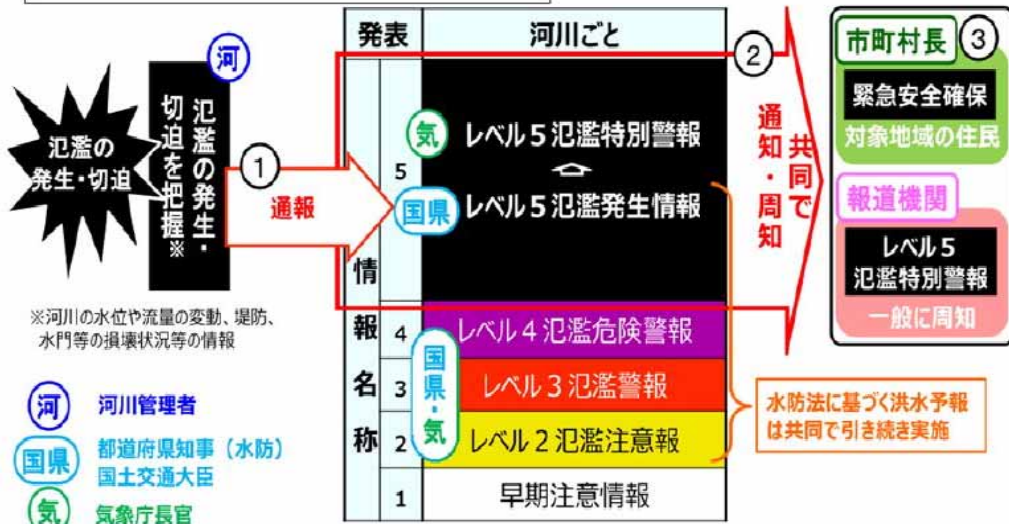
河川管理者等による氾濫に係る通報(水防関連情報)と特別警報・警報・注意報

「河川氾濫」の注意報・警報で発表します

洪水に係る警戒レベル5相当情報の運用体制(洪水予報河川) 国土交通省

- ①洪水による氾濫の発生や氾濫が迫っていることを関係者に**プッシュ型で情報提供**するため、**河川管理者等は、氾濫による危険の切迫**を認める場合に都道府県知事へ**通報する制度を創設** 【水防法 新第24条の2第1項、新第25条第1項】
- ②**国土交通大臣又は都道府県知事**は、河川管理者からの通報に基づき、**レベル5氾濫発生情報**を関係機関へ**通知**するほか、気象庁長官の求めに応じ、**洪水の特別警報の判断に必要な情報**(河川の水位や流量の変動、堤防、水門等の損壊状況等)を**提供** 【水防法 第13条の4、新第24条の2第2項、気象業務法 新第13条の2第6項、第7項、第8項】
- ③**市町村長**は、国土交通大臣又は都道府県知事、気象庁長官からの「レベル5氾濫特別警報(レベル5氾濫発生情報と共同で実施)」の通知を踏まえ、**対象地域の住民に対して緊急安全確保の発令を判断**

警戒レベル5相当情報の伝達の流れ [洪水予報河川]



気象庁による防災気象情報 (特別警報・警報・注意報)

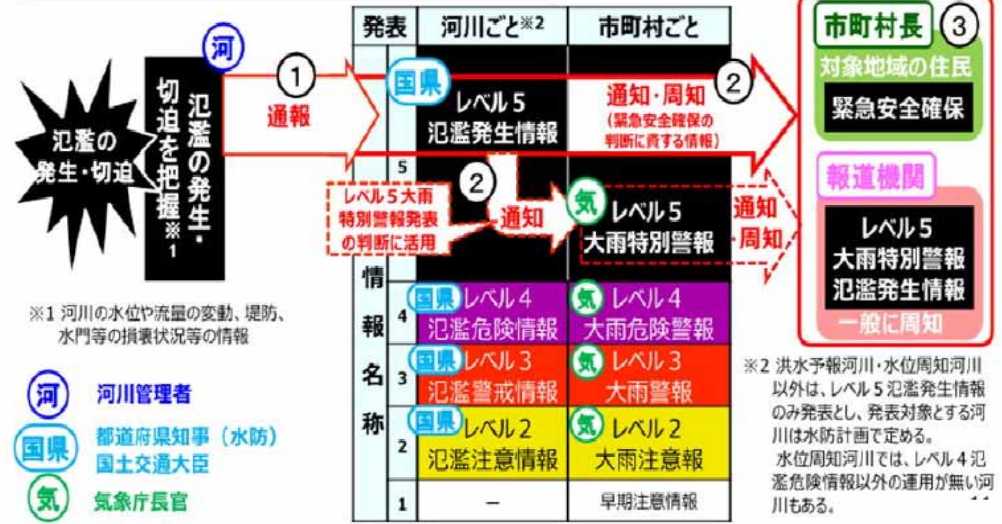
確認・計測情報 + 予報・予測情報

「大雨」の注意報・警報で発表します

洪水に係る警戒レベル5相当情報の運用体制(水位周知河川等) 国土交通省

- ①洪水による氾濫の発生や氾濫が迫っていることを関係者に**プッシュ型で情報提供**するため、**河川管理者等は、氾濫による危険の切迫**を認める場合に都道府県知事へ**通報する制度を創設** 【水防法 新第24条の2第1項、新第25条第1項】
- ②**国土交通大臣又は都道府県知事**は、河川管理者からの通報に基づき、**レベル5氾濫発生情報**を関係機関へ**通知・周知**(気象庁が発表する**レベル5大雨特別警報**の発表判断にも活用) 【水防法 第13条の4、新第24条の2第2項】
- ③**市町村長**は、国土交通大臣又は都道府県知事からの「レベル5氾濫発生情報」の通知を踏まえ、**対象地域の住民に対して緊急安全確保の発令を判断**

警戒レベル5相当情報の伝達の流れ [水位周知河川等]



水防活動用情報もレベルを付けて発表に変更
例 氾濫注意情報(現行)→レベル2氾濫注意情報

河川管理者による水位到達情報
水防や住民が避難行動の判断などに活用する情報

気象庁による防災気象情報 (特別警報・警報・注意報)

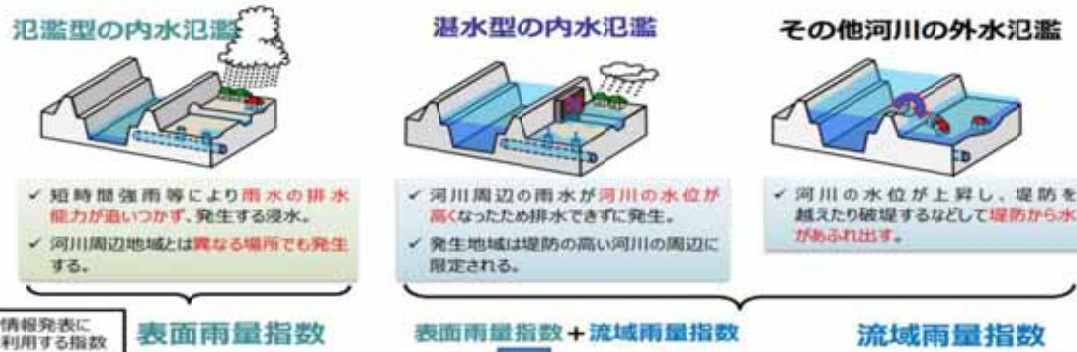
予報

大雨に関する情報

現在の大雨（浸水害）の特別警報・警報・注意報をベースに、洪水予報河川以外の外水氾濫等も対象に、5段階の警戒レベルに合わせて発表

レベル4大雨危険警報を新たに警戒レベル4相当情報として新設

新たな大雨に関する情報の対象となる現象



上記3つの現象のうち、いずれかの指数が発表基準を満たす場合に、市町村単位で情報発表

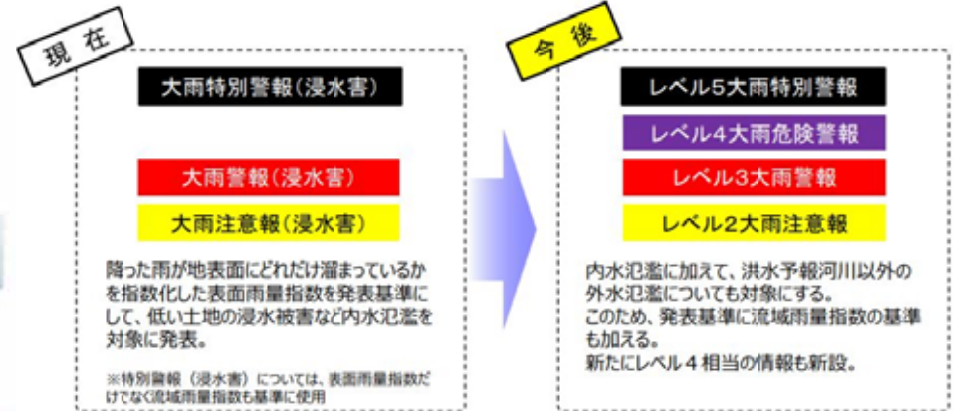
レベル4大雨危険警報についての留意点

令和8年5月下旬から運用される新たな防災気象情報では、湛水型の内水氾濫については、現行では、レベル4相当となる基準がありません。そのため、レベル4大雨危険警報の発表対象とはなっていません。今後、運用の検討を進めていく予定

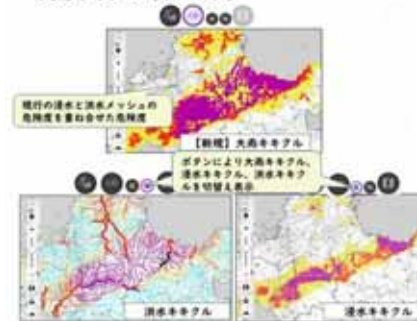
降水予測の精度から、局地的な大雨により、市町のごく一部で危険度が高まるような事象についても対象としていません(複数格子で判定を対象)

対象となる現象の一つで、警報、注意報を発表した場合には、発表時に対象となっていない現象で基準を満たす予想となった場合でも、同一レベルの場合には警報・注意報の再発表は行いません。

大雨に関する情報



大雨キキクル (イメージ)



- 大雨に関する情報が発表された際に、危険度が高まっている地域を確認することができます。
- 大雨に関する情報が対象としている河川の氾濫の危険度(洪水キキクル)や短時間強雨による浸水害の危険度(浸水キキクル)を重ねて大雨キキクルとして新規表示します。
- 洪水キキクルと浸水キキクルについて切替え表示で、洪水災害・浸水害それぞれの危険度の確認が可能です。

警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、これまでと変わりません。
- これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、警戒レベルには相当しないことに留意してください。

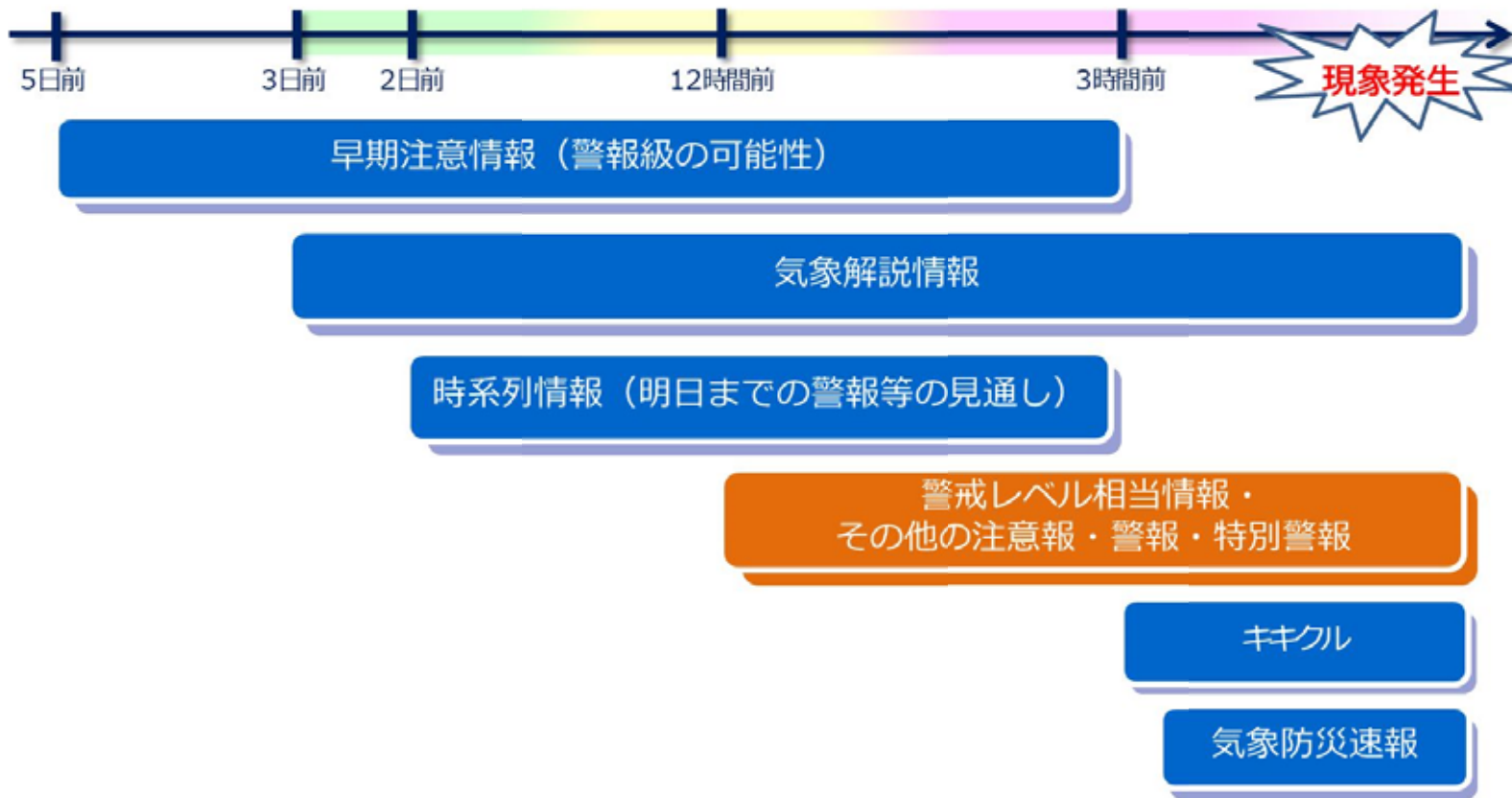
警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、 濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

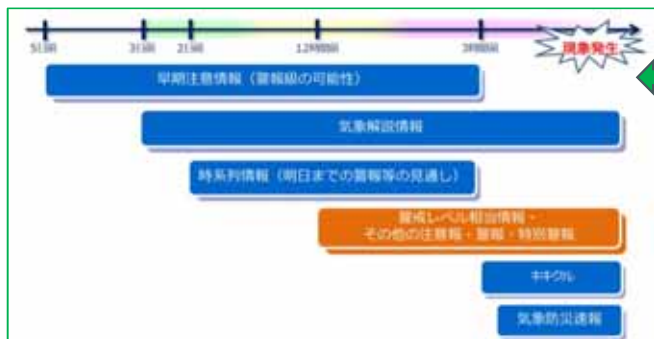
※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意してください。

段階的に発表される防災気象情報

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
 - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
 - キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。



早期注意情報



早期注意情報(警戒レベル1)は、5日先までの警報級の現象の可能性を発表

令和8年出水期からは、早期注意情報(警戒級の可能性)を以下のように変更します。

- ◆ 令和8年出水期からは、これまで大雨に含めていた土砂災害の警戒級の可能性を切り分けて発表します。
- ◆ さらに、明後日までを対象とした情報の時間幅を次のとおり変更します。
 - ・ 明日までは、12時間または18時間の時間幅で発表していたものを6時間の幅で発表
 - ・ 明後日については、1日の時間幅であったものを午前・午後に分けて発表
- ◆ 発表区域は、明後日を、現在の府県予報区域から、今日・明日と同じく一次細分区域(滋賀県は、北部と南部)に変更します。

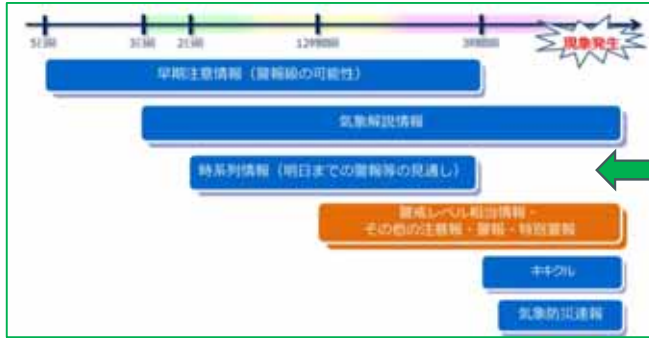
(現行)	1日	2日				3日	4日	5日	6日
	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24				
警戒級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24				
大雨	[中]	[高]				[中]	-	-	-

↓

(新体系)	1日	2日				3日		4日	5日	6日
	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
警戒級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	[中]	[高]	[中]	-	-	-	-	-	
土砂災害	-	[中]	[高]	[高]	[中]	[中]	-	-	-	

早期注意情報をうまく活用して災害への心構えを！

時系列情報（明日までの警報等の見通し）



- 時系列情報は、警報・注意報に先立って気象の見通しを警報・注意報発表の地域区分(山地等の分割地域)で提供する予測情報です
- 警報・注意報の発表に関わらず、翌日までの3時間毎または日毎の気象状況の見通しを提供
- 対象要素「大雨」・「土砂災害」・「風」・「高潮」・「雷」・「乾燥」・「大雪」・「融雪」・「濃霧」・「着氷」・「着雪」・「雪崩」・「低温」・「霜」
- 毎日4回気象庁ホームページなどで(5時、11時、17時、23時)に提供
※定期的な更新以外にも、当初の想定から今後の見通しが大きく変わった場合などには、必要に応じて臨時に修正情報を発表

現行（注意報・警報発表時に発表）

滋賀県の警報・注意報（注意警報事項）	
2023年02月02日15時47分 彦根地方気象台 発表	
注意警報事項	南部では、強風に注意してください。北部では、風雪やなだれに注意してください。滋賀県では、落雷に注意してください。
高島市の警報・注意報（発表状況）	
2023年02月02日15時47分発表	
高島市	警報・注意報・警報の切り替え
警報・注意報(発表)	大雪注意報
警報・注意報(継続)	大雪注意報 なだれ注意報

高島市の警報・注意報（今後の予測）											
2023年02月02日15時47分発表											
高島市	2日	3日		備考・関連する現象							
	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18		
大雪	注意報	7	7	8	12*	12*	12*	12*			*は雪を伴う
雷											突風
なだれ											以後も注意情報

切り替える可能性の高い
注意報・警報は廃止されます

新しい防災気象情報のホームページ表示状況(イメージ)

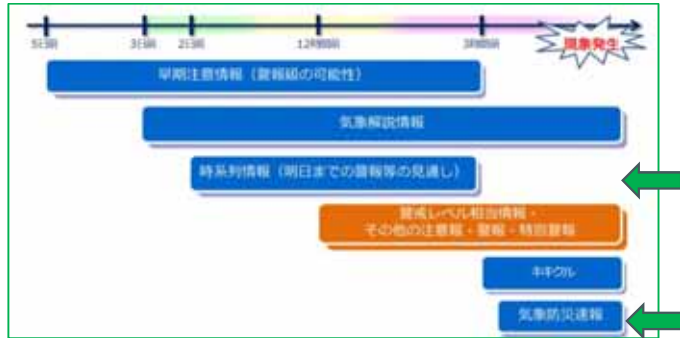
レベル4相当情報発表中				
●●市の警報・注意報(発表状況)				
2023年6月2日(木)00時XX分発表				
●●市	大雨	土砂災害	雹害	濃霧
レベル5相当				
レベル4相当		レベル4土砂災害特別警報		
レベル3相当	レベル3大雨警報			
レベル2				

●●市の警報・注意報(発表状況)	
2023年6月2日(木)00時XX分発表	
●●市	警報・注意報
特別警報	
警報	
注意報	大雪注意報 強風注意報 波浪注意報

時系列情報（明日までの警報等の見通し）毎日4回定時に提供

●●市の時系列情報(明日までの警報等の見通し)															
2023年6月2日03時00分発表															
●●市	3日												4日	備考・関連する現象	
	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
1時間降水量(mm)	40	40	51	50	50	10	10	10	5	5	0	0	0	0	
24時間降水量(mm)	180						20								
大雨															
土砂災害															

気象防災速報・気象解説情報



気象防災速報の例

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を公表します。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。

気象防災速報 … 極端な現象を速報的に伝える情報 (府県単位でのみ発表)



気象解説情報 … 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 (全国・地方・府県単位で発表)



■ 気象防災速報 (記録的短時間大雨) ← 現: 記録的短時間大雨情報

滋賀県気象防災速報 (記録的短時間大雨) 第1号
令和○年○月○日○時○分 気象庁発表

○時50分時滋賀県米原市で記録的短時間大雨。
米原市雨日で1時間に100ミリ。
猛烈な雨が降っており、災害発生の危険度が急激に高まっています。

■ 気象防災速報 (線状降水帯発生) ← 現: 顕著な大雨に関する気象情報

滋賀県気象防災速報 (線状降水帯発生) 第1号
令和○年○月○日○時○分 彦根地方気象台発表

滋賀県南部では、線状降水帯による非常に強い雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まっています。

■ 気象防災速報 (線状降水帯直前予測) ← 令和8年度より新たに運用を始める情報

滋賀県気象防災速報 (線状降水帯直前予測) 第1号
令和○年○月○日○時○分 彦根地方気象台発表

滋賀県北部では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に強い雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まるおそれがあります。

■ 気象防災速報 (短時間大雪) ← 現: 顕著な大雪に関する気象情報

滋賀県気象防災速報 (短時間大雪) 第1号
令和○年○月○日○時○分 彦根地方気象台発表

彦根で、22日4時までの6時間で25センチの顕著な降雪を観測しました。この強い雪は22日夕方にかけて続く見込みです。湖東の平地では、大規模な交通障害の発生のおそれが高まっています。

気象防災速報(線状降水帯直前予測)

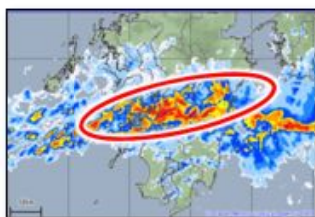
観測の強化、予測の強化により、線状降水帯に関する情報の段階的な改善を実施しています。

- **令和8年**から、**2～3時間前**を目標にした予測情報を提供予定
- **令和11年**から、半日前に**市町村単位**で線状降水帯発生の可能性が把握可能な分布形式の情報を提供予定
情報のリードタイムを伸ばし、また、情報の発表の対象地域を狭めることで、国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていきます。

「迫りくる危険から直ちに避難」→情報のリードタイムをのばす

発生情報

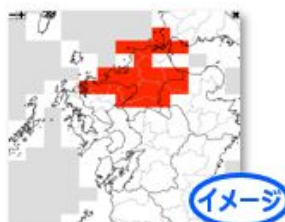
令和3年	線状降水帯の発生をお知らせする情報
令和5年	最大 30分 程度前倒し



線状降水帯の雨域を楕円で表示

直前予測

令和8年
2～3時間前を目標に
予測情報を発表



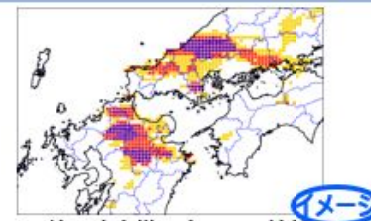
補足情報として、線状降水帯による大雨の恐れがある大まかな領域を図情報で表示(予定)

半日前予測

令和4年	地方単位 で予測
令和6年	府県単位 で予測

↓ さらに**対象地域を狭める**

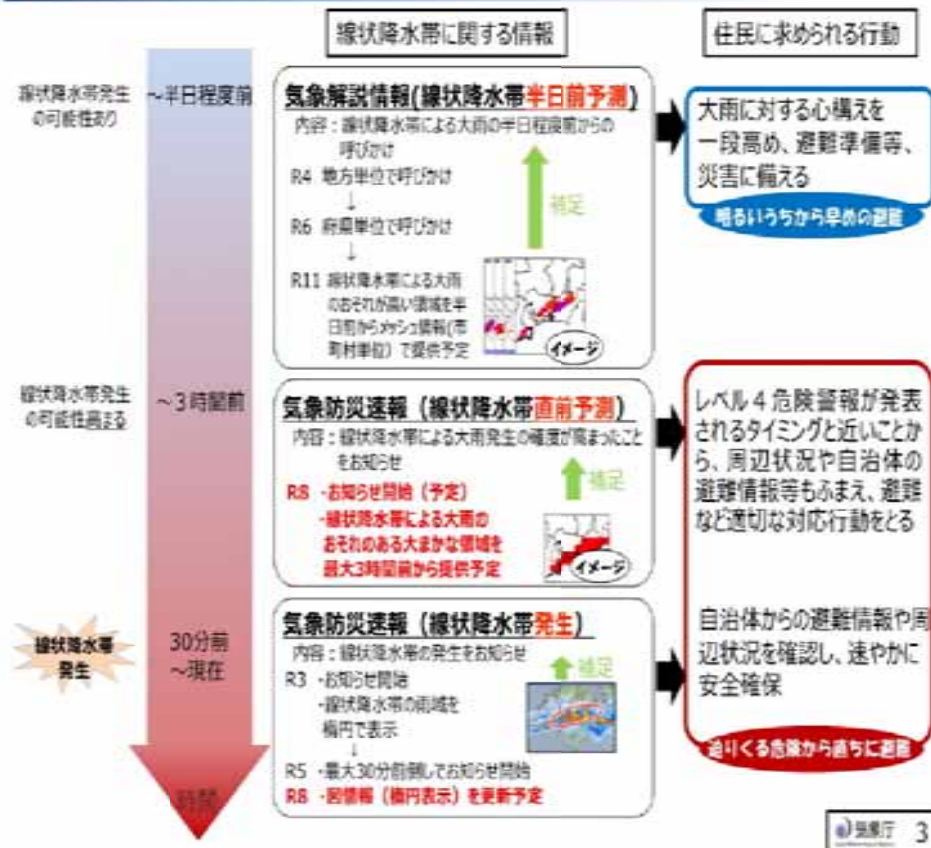
令和11年
市町村単位で把握可能な危険度分布形式の情報を提供



線状降水帯発生の可能性が把握可能な分布形式で表示(予定)

気象防災速報(線状降水帯直前予測)の概要等

線状降水帯に関する情報の位置付け



気象防災速報(線状降水帯直前予測)の概要 (文章情報・図情報)

気象防災速報(線状降水帯直前予測)

- 今後3時間以内に、線状降水帯の発生により非常に激しい雨が降り続く可能性が高まった場合に発表します。
- 一次細分区域を対象に発表します。

〇〇県気象防災速報(線状降水帯直前予測) 第1号
令和〇年〇月〇日〇時〇〇分 〇〇気象台発表
(見出し)

〇〇県●●(一次細分区域)では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まるおそれがあります。

線状降水帯予測マップ(仮称)

- 文章情報を補足するものとして、最大3時間先までに線状降水帯による大雨のおそれのある大まかな領域をメッシュ情報で提供します。
 - 文章情報の対象地域にあっては、線状降水帯発生のおそれのある領域を確認し、防災対応につなげていただく
 - 文章情報が発表されていない場合、メッシュ表示されている場合は線状降水帯発生のおそれがあることから、今後の防災気象情報に留意いただく



気象庁HP新たな防災気象情報について(令和8年～)

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>

新たな防災気象情報について(令和8年～)

令和8年5月下旬(予定)より
気象の警報などが大きく変わります

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意警報	レベル2 大雨注意警報	レベル2 土砂災害注意警報	レベル2 高潮注意警報
警戒レベル1	早期注意警報			

- 警報・注意警報の情報名に「レベル」が付記されます
- 河川の氾濫の危険度の低え方が変わります(特別警報の新設など)
- 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

広報資料等

目をクリックすると大きな画像でご覧いただけます。

・ 一冊のフリープレット(3つ折り) [ダウンロードファイル\(PDF形式: 10.1MB\)](#)
[\[PPT形式: 18.2MB\]](#)



・ 子ども用フリープレット(2つ折り) [ダウンロードファイル\(PDF形式: 10.1MB\)](#)
[\[PPT形式: 2.2MB\]](#)



情報改善の詳しい説明資料

全体概要

防災気象情報の改善について [\[PDF形式: 2.2MB\]](#) [\[PPT形式: 8.9MB\]](#)

災害種類別の情報

河川氾濫・大雨に関する情報の改善 [\[PDF形式: 1.0MB\]](#) [\[PPT形式: 0.95MB\]](#)

土砂災害に関する情報の改善 [\[PDF形式: 0.71MB\]](#) [\[PPT形式: 0.56MB\]](#)

高潮に関する情報の改善 [\[PDF形式: 0.97MB\]](#) [\[PPT形式: 0.26MB\]](#)

水防法に基づく浸透警報制度について(主に水防・移動関係者向け) [\[PDF形式: 0.28MB\]](#)
[\[PPT形式: 1.0MB\]](#)

「浸透警報制度」は、洪水や高潮の浸透が甚しい状況、あるいは、浸透が発生した状況を確認したときに河川管理者等の状況を確認することであり、河川対策が実施される警戒レベル3の緊急安全確保措置に接続する形で運用が情報です。詳細、国土交通省水防課・国土防災課にお問い合わせ、その運用の検討が図られています。

その他の情報

ギョウケル改善について [\[PDF形式: 0.76MB\]](#) [\[PPT形式: 2.2MB\]](#)

気象情報(解説情報)の改善～気象防災連携・気象解説情報への整理～ [\[PDF形式: 0.3MB\]](#)
[\[PPT形式: 1.0MB\]](#)

早期注意情報の改善について [\[PDF形式: 0.96MB\]](#) [\[PPT形式: 1.4MB\]](#)

局系列情報(明日までの警報等の見直し)について [\[PDF形式: 0.78MB\]](#) [\[PPT形式: 0.60MB\]](#)

浸透警報(事前予測)について [\[PDF形式: 1.8MB\]](#) [\[PPT形式: 0.32MB\]](#)

気象庁ホームページの改善について [\[PDF形式: 4.5MB\]](#) [\[PPT形式: 16.2MB\]](#)

新たな情報等の英語表記について [\[PDF形式: 0.67MB\]](#) [\[WORD形式: 0.28MB\]](#)